

# R5学校評価アンケート (CS用)

2 件の回答

分析を公開

回答される方のお名前を入力してください

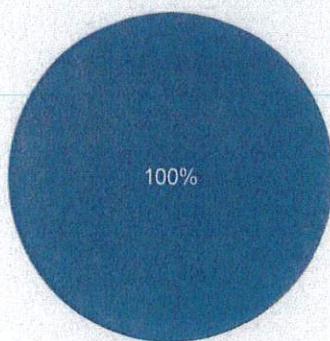
1 件の回答



重点（1）《進んで学ぶ子どもの育成》

①学校は、I C T（情報通信技術）を効果的に使いながら、複式授業を工夫し、児童の主体的に学習に取り組む態度や知識及び技能、思考力・判断力・表現力を伸ばしている。

1 件の回答

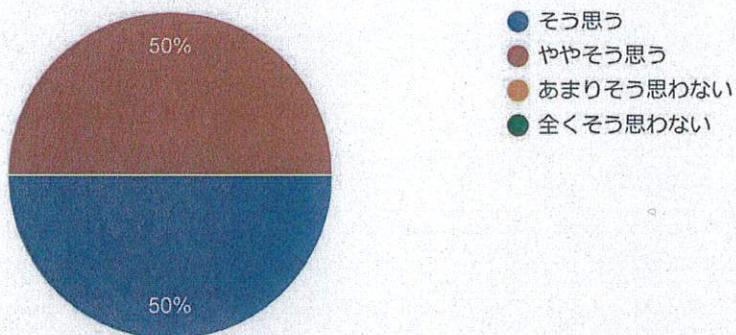


- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない



(1) ②学校は、生活科や総合的な学習の時間を中心に、児童の課題意識を大切にした学習活動を仕組んだり、各教科を関連付けて、効果的に学習を進めている。

■ 件の回答



● そう思う

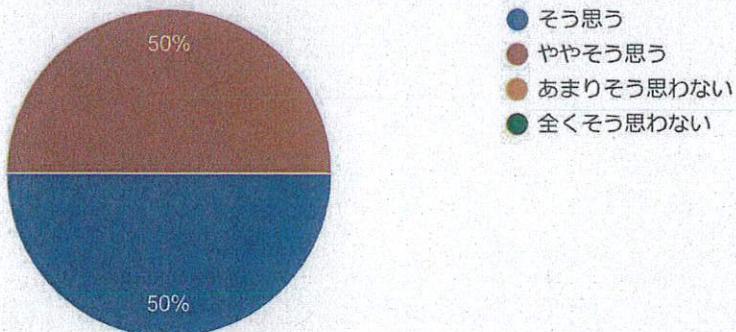
● ややそう思う

● あまりそう思わない

● 全くそう思わない

(1) ③学校は、家庭と連携した読書の取組を通して児童の読書の量と質が充実し、すららドリルや自主学習の取組を通して家庭学習の習慣化が図られている。

■ 件の回答



● そう思う

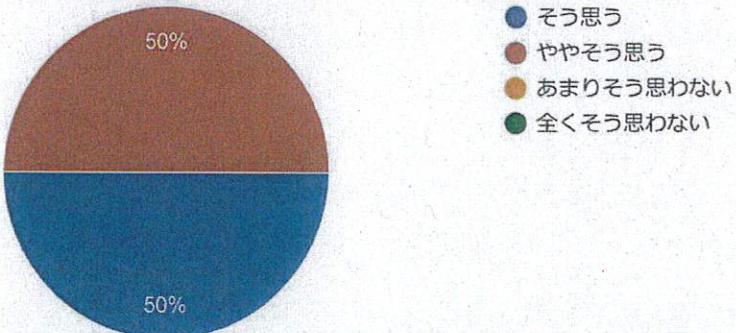
● ややそう思う

● あまりそう思わない

● 全くそう思わない

(1) ④学校は、ダブルlettetを使った「すららタイム」で1週間の取組の見通しを持たせ、一人ひとりに最適な学びを支援している。

■ 件の回答



● そう思う

● ややそう思う

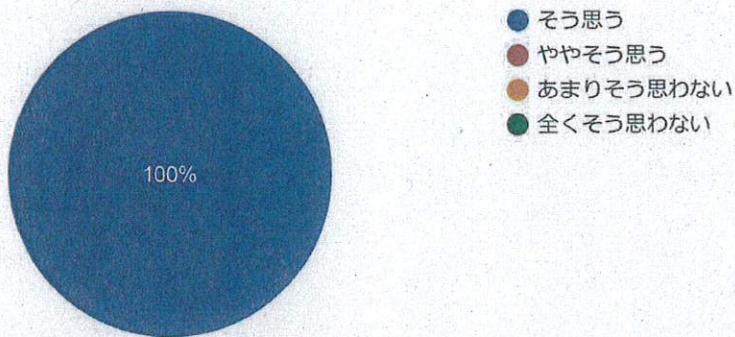
● あまりそう思わない

● 全くそう思わない

## (2) 《心優しい子どもの育成》

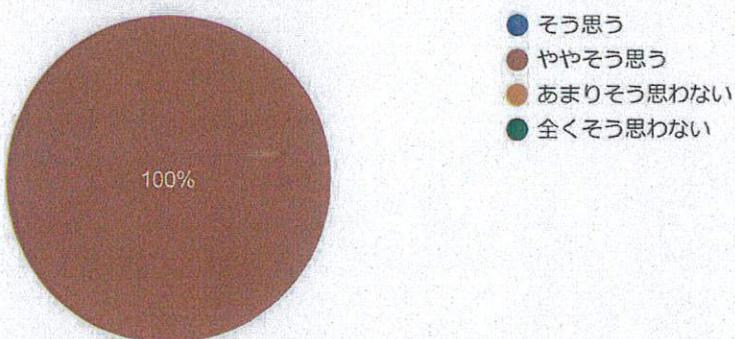
①学校は、道徳の授業を中心にしながら、「個性の伸長」「親切、思いやり」「礼儀」「伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」を教育活動全体で指導し、培っている。

件の回答



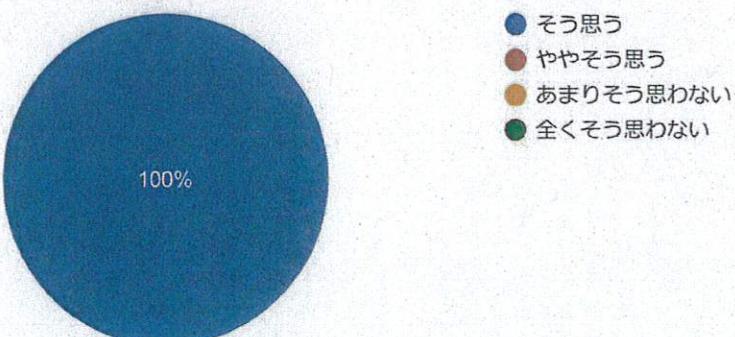
(2) ②学校は、運動会や学校行事の取組の中で、児童の主体的・協働的な活動を仕組み、友だちと感動や成功体験を共有できるようしている。

件の回答



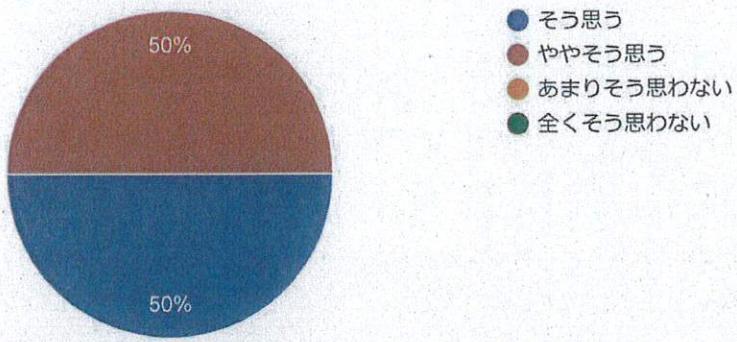
(2) ③学校は、地域の教育資源を活かした活動を充実させ、地域を愛する心や地域に貢献しようとする態度を育てている。

件の回答



(2) ④学校は、町内の学校と合同で授業をしたり行事をすることで、各学年で交流が図られるようにしている。

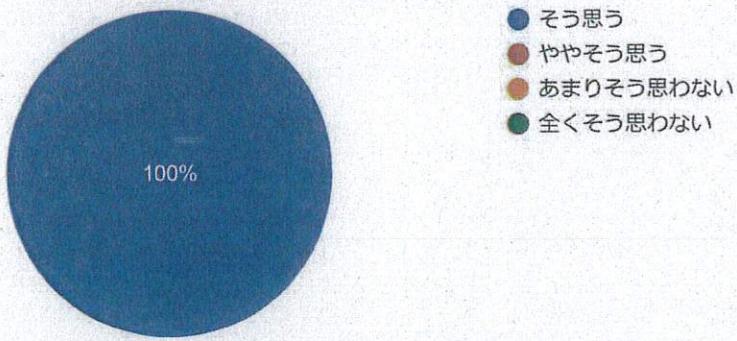
件の回答



### (3) 《たくましい子どもの育成》

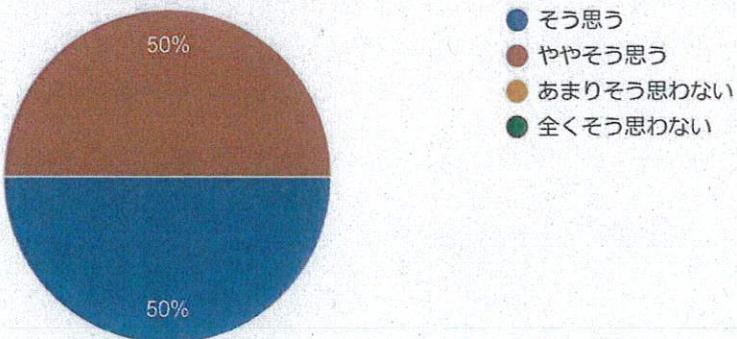
①学校は、家庭と連携し、メディアコントロールを切り口として、児童の生リズムを向上させたり、避難訓練や防災教室を行うことで、児童の危険予知・回避・対応能力を高めている。

件の回答



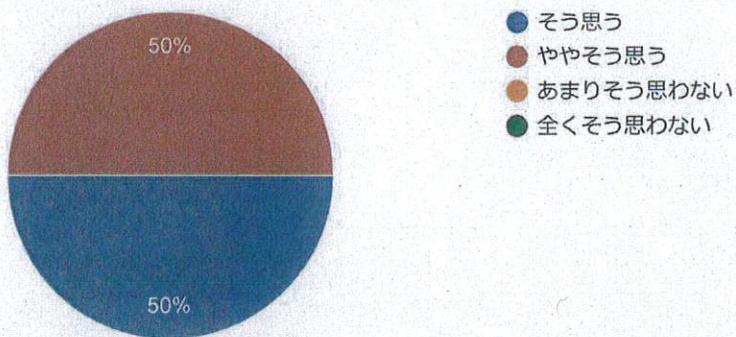
(3) ②学校は、運動の時間と場所の確保、体育授業や体育的行事への取組における運動量の更なる確保に努め、児童の体力・運動能力を向上させていく。

件の回答



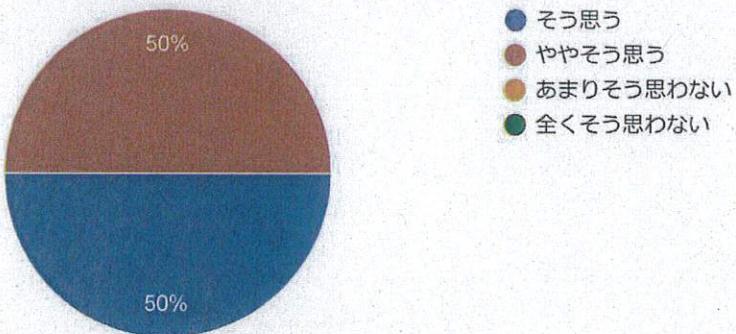
(3) ③学校は、なかよし会食、心を育む給食週間等の取組による食育を推進し、「食」に関する知識と、バランスのよい「食」を選ぶ力を身に付け、「食」に対する感謝の気持ちを育んでいる。

件の回答



(3) ④学校は、「立腰」や「正しい鉛筆の持ち方」、また「アウトメディア」や「早寝早起き朝ごはん」といった基本的な生活習慣自分で整えられるようにしている。

件の回答



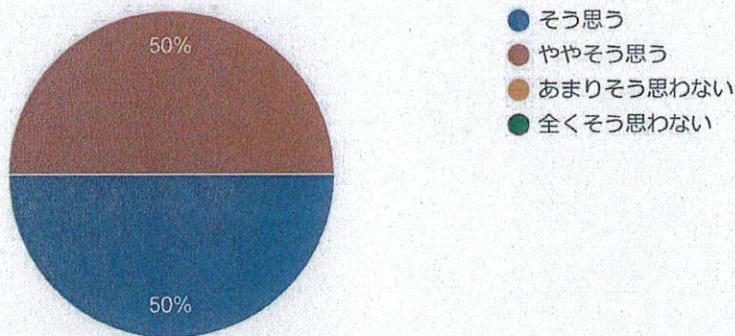
(4) 学校の合言葉（子どもと教師が共に育む非認知能力）について、本校の児童全体の姿をお答えください。



①【あ】あきらめない

⇒本校の児童は、めあてを持ち、がってしない（へこたれない）で、最後までやり続けること（自己認識、意欲、忍耐力）が身に付いてきている。

件の回答

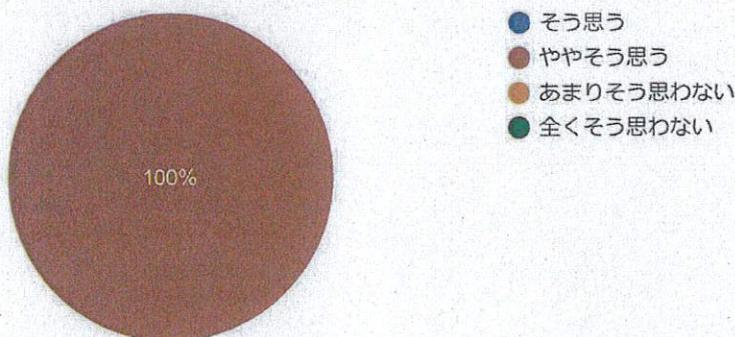


(4) ②【い】いのちを大切に



⇒本校の児童は、事故にあわないようにすること、生活リズムを整え病気や怪我をしないようにすること、いじめをしないことが身に付いてきている。

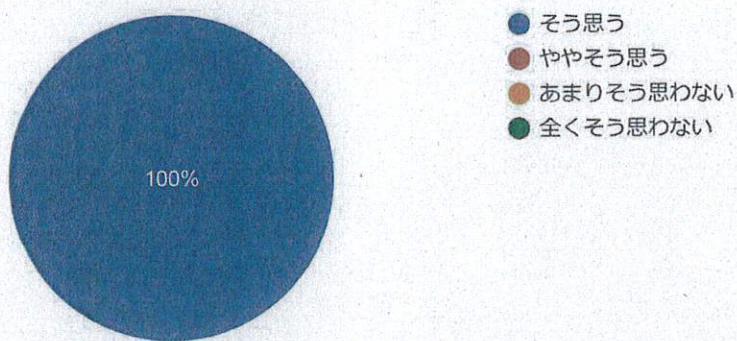
件の回答



#### (4) ③【う】美しい心

⇒本校の児童は、「ありがとう」「すごいね」等、感謝や賞賛のことばを素直に言えること、善悪を判断し、善い行いをしようとすること、ルールを守ろうとすることが身に付いてきている。

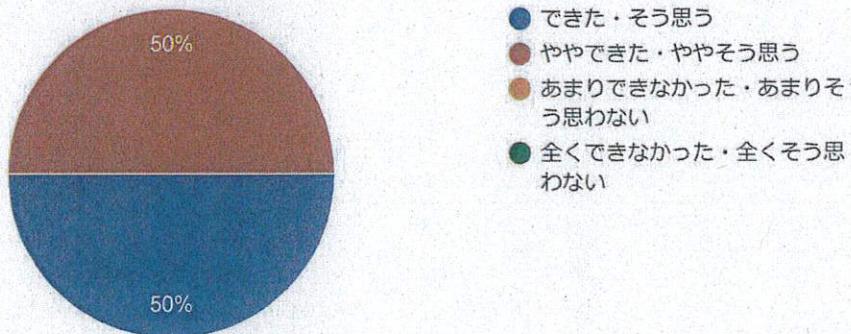
■ 件の回答



#### (4) ④【え】笑顔であいさつ

⇒本校の児童は、誰にでも、笑顔であいさつすること（コミュニケーション力）が身についてきている。

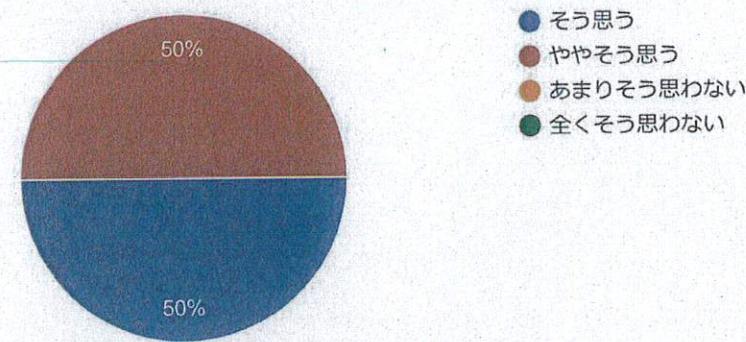
■ 件の回答



(4) ⑤【お】思いやり

⇒本校の児童は、周りの人に優しく接すること、みんなでできるようになろうとすること（協調性、協働力）が身についてきている。

■ 件の回答



その他、学校への要望やご意見等があれば記述してください。（特に評価が低かったものについて、ご記入をお願いします。）

■ 件の回答

こういった取り組みが、飯豊町全体の教育に示唆することを期待します。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。[不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシー](#)  
[ポリシー](#)

Google フォーム

# アクションプラン

学校名	記載者 職・氏名	『職員会議や学年部会等、全職員によるアクションプラン共有の場』			
		①作成時	②8月評価時	③12月評価時	④2月評価時
飯豊町立手ノ子小学校	教諭 [REDACTED]	6月中職員打合せ	9月職員打合せ	12月職員打合せ	1月学校研究全体会

「確かな学力」の育成に向けて・・・付けたい力を明確にした、教科の本質に迫る授業の実践

(1) 調査問題・児童生徒質問紙の分析と、育成を目指す資質・能力		(2) 「育成を目指す資質・能力」を身に付けるために必要な指導・取組み等 「確かな学力」の育成(令和4年度学校教育指導の重点p16~)を意識しながら指導・取組みを考えましょう。							
①調査問題、児童生徒質問紙の分析等	②育成を目指す資質・能力								
全校学力調査問題から ★:調査問題の傾向・気付き △:全国比で正答率が低い  【国語】 ★:互いの立場や意図を明確にしながら話し合い、自分の考えをまとめる。 ★:文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える。 ★:出された条件に合わせて、適切な文や言葉で自分の考えを記述する。 △:人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしながら読む。  【算数】 ★:示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察する。教科の枠を超えた日常生活からの出題。 ★:図表や文中から、解決に必要な数値情報を確実に選び出す。その際は、その数値が何を表すのかを見極める。 △:2(3)「変化と関係」割合を用いて問題を解決する場面において、数量が変わっても割合は変わらないことを理解すること。  【質問紙】 △:学校の授業以外に、普段1日あたりどのくらいの時間、読書をするか。 △:普段1日当たりどのくらいの時間、SNSや動画視聴をするか。 △:休日に1日当たりどのくらいの時間、勉強をするか。  昨年度の学力テスト(NRT)から 4年生の正答率が低い問題 【国語】 △相手や目的に応じて、文章全体を通して表現を整えて書く。 △段落相互の関係を考えながら内容を正しく読み取り、表にまとめる。 △場面の移り変わりや登場人物の性格や気持ちの変化を、叙述を基に想像しながら読む。  【算数】 △何倍かを表す小数について図を用いて考えたり表現したりする。 △折れ線グラフを読み取ったり、グラフをもとに問題解決の方法を考えたりする。 △2つの観点から分類整理した表について理解し、正しく表したり読み取ったりする。	<p style="text-align: center;"><b>学校教育目標</b></p> <p style="text-align: center;">すすんで学び 心優しく たくましい 手ノ子小の子</p> <p style="text-align: center;">今年度の重点目標 (1) 確かな学力を育む《進んで学ぶ子どもの育成》</p> <p style="text-align: center;">研究主題</p> <p style="text-align: center;">自律的・主体的に考え、共に学び合う子どもの育成 ～算数科における複式学級での授業づくりを通して～</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><b>調査から見えた課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科を超えた日常生活からの問題場面から多く出題されている。カリキュラムマネジメントによる学習活動の精選や「総合的な学習の時間」の充実と見直しを図り、探究的な学びを推進していく必要がある。</li> <li>基本的な知識・技能の習得、さらに、思考力・判断力・表現力の育成を意識した授業づくりを心がける。</li> <li>複式という環境を生かし、自律的な学習を積み上げていくことで、学び方を身につけ、主体的に学びに向かおうとする力を引き出していく必要がある。</li> <li>児童同士の学び合いの時間では、筋道立てたり根拠を示したりして説明し合い、考えを練り合う場面を意図的につくっていく。</li> <li>児童が自律的・主体的に学習に向かうことができるよう、「教わること」と「覚えること」のバランスをとりながら、児童同士が学年、学級を超えて様々な考えに触れて、問題発見・解決能力を高めていくようとする。(全校会議・クラブ活動)</li> <li>各教科等での学びが、一人一人のキャリア形成やよりよい社会づくりにどのようにつながっているのか、実生活の「人」「もの」「こと」とつなげることを意識しながら授業をする。</li> <li>学びの質を高めていくため、目的に応じたICT機器の活用の仕方を探っていく。(思考の可視化・思考の深まりや広がり)</li> </ul>	<p><b>付けたい力、資質・能力</b></p> <p><b>知識・技能</b> ア 複数情報から事実とその関連を正しく読み取り、整理する。</p> <p><b>思考力・判断力・表現力</b> イ 筋道立てて考え、相手・目的に応じて必要な根拠をあげて説明・表現する。</p> <p><b>学びに向かう力・人間性</b> ウ 問いを見付け、自分の考えを持ち、解決に向けて思考・表現する。</p>							
取組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り(8月)		全教科共通							
		<p>アイウ 各教科等では実生活や実社会との関連が分かる教材を工夫する。加えて、総合的な学習の時間には、身近な地域社会の課題に取り組み探究的な学びを進める中で、各教科等の知識や技能を活用していることに気付けるようにする。</p> <p>アイ 交流を意識した授業を構成し、友達と意見を出し合いながら答えを見付けていく学習場面を設定する。</p> <p>アイ 1時間に1回は書く活動を組み込む。その際には、文字数を規定する、箇条書き、キーワード、表に整理するなど、目的や場合に応じた書き表し方を提示する。</p> <p>アイウ ICTを利用し、図表等を効果的に入れながら自分の考えを主張する場を設ける。</p> <p>アイ 比較的まとまった文量を話したり、書いたりする際は、はじめに簡単な構成表を書くことを習慣付ける。また、主述のねじれがある場合は、必ず、本人と一緒に見直す場をつくり指導する。</p> <p>国語 アイ 登場人物の行動や気持ちの変化・性格、情景、物語の全体像を読み取り具体的に想像したり、どのように描かれているか表現の効果にも着目したりして読むことができるように指導する。</p> <p>算数 ア 口頭発表に偏らず、「事実」「方法」「目的」について記述する場を1時間に1回は設ける。問題場面と題意をつかんだあとは、答えを見積もる習慣を付ける。</p> <p>社会 ア 常に教師の発問によってデータを読み取るのではなく、データ分析の着眼点を示し、児童自身がそれを獲得し図表の読み解き力につなぐ。文章との呼応も必ず確認する。</p> <p>理科 ア 結果・結論はもとより、予想の際にも、実体験や既習等理由を述べる。</p>							
取組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り(12月)		取組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り(12月)							
		<p>1・4年生の複式授業であるため、4年生は、間接学習が多くなる現状であるが、学習リーダーを中心に自分たちで進めることができている。1年生については、次に何をするかを確かめながら、自分たちで学習することを練習してきた。また、興味関心がもてるような題材や活動を工夫し、算数的活動を入れながら仕組んできた。</p> <p>1年生「おおきさくらべ」では、広さを比べるために単位量のタイルを敷き詰めたところを写真に映し、数字や言葉を書き入れたりタイルの枚数の数え方を話したりしながら、どちらのランチョンマットがタイル何枚分大きいかを相手意識をもって説明することができた。4年生「面積」では、複合图形の求積の仕方を「発表名人」の手引きを活用し、図と式を関係づけながら伝え合い、さらに、適用問題を解く際には、求積方法を選んで明記し補助線や長さを書き入れさせたことで思考の深まりが見られた。</p> <p>校内研修を核として、算数科においては、複式授業スタイルの確立・定着が図られてきて、自主的・自律的に学ぶ姿が見られるようになってきたが、さらに、他教科での活用や生活場面への広がりとなると課題が残った。児童同士が学年や学級の枠を超えて問題発見や解決能力を高めるために、「全校会議」や「クラブ活動」「総合的な学習での探究的な学び」を充実させ、自主的・自律的な児童の姿を目指していきたい。</p>							